

令和6年度

串間市立北方小学校 学校評価

No. 1

(4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する)

本年度の 重点目標		ゆめいっぱい	思いやりいっぱい	・自己肯定感 ・命を大切にすること ・確かな日常モラル ・自ら考え行動できる力			
			学びいっぱい	・確かな学び/基礎基本 ・学ぶ喜びの実感 ・個別最適な学び/協働的な学び ・言語能力/言葉の充実			
			たくましさいっぱい	・タイムマネジメント力 ・生活習慣の定着 ・体力づくり ・安全意識の向上			
目標	評価 項目	具体的な 数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	コメント
思いやりいっぱい	自己肯定感 人権教育の推進 (教務・人権担当)	○学校・学級が楽しい80%	○人権教育の推進 ○学級経営の充実 ・人権集会の充実(講師招聘・体験型の実施) ・学校経営についての職員の相互理解と教育力向上の場の設定 ・教育相談の充実 ・教師間の報・連・相の徹底	3	○全校で人権集会を行ったり、中学年では外部講師を招聘し、人権活動を行ったりしたことで、児童の人権意識が高まった。 ○毎月1回教育相談を行うことで、学級担任が児童一人一人の話を聞き、児童理解に努めることができた。教育相談後は「心にふれあう協議会」を開き、全職員で児童一人一人を理解することができた。	3	○全職員での声掛け等により一人一人をよく見てもらっている成果だと思う。 ○「優しさ」は北方小ならではのよさなので今後も引き継いでいってほしい。
	命を大切にすること 命を大切にすることの教育の推進 (道徳担当)	○相手を思いやり、命の大切さを感じている児童100%	○命を大切にすることの教育の推進 ・参観日での授業の実施 ・愛鳥集会、栽培活動の充実	3	○参観日には、全学年において外部講師を招聘し、命を大切にする授業を行った。児童と保護者に命を大切にするための取り組みを改めて考えてもらうよい機会となった。また、愛鳥集会や栽培活動を通して、命の尊さや思いやりの心を学ぶことができた。 ●言葉使いが悪かったり、名前を呼び捨てにしたりすることがあるので今後も全職員で指導が必要である。	3	○言葉使いに関しては、地域・家庭環境などに影響を受けやすい時期のため指導が難しいが、引き続き指導してほしい。
	確かな日常モラル (生徒指導部)	○元気なあいさつができている90% ○無言の場のきまりが守れている90%	○時と場に応じた行動の指導「元気なあいさつ：「5つの無言の場」 ・学期初めの学校のきまりの共通理解と指導 ・集会での呼びかけ	3	○各学級担任が児童への声掛けを常時行った成果として、会釈が良くなった ●無言の場の定着(掃除のチャイム後の大きなおしゃべり声等)徹底ができるように全職員で継続的な指導が必要である。 ●朝の挨拶が元気に自分からできる児童が少ないのでさらなる常時指導が必要である。	3	○朝の見守り隊の方から挨拶が4月当初よりよくなったとの声がある。 ○挨拶する機会を増やしたり、地域との関わりを増やすことも大切である。
	自ら考え行動できる力 (教務部) (生徒指導部) (学習部) (保健体育部)	○行事等で自主的に考え判断できている。90%	○行事等における自主的な活動 ・自ら判断し、行動できるような場の設定と振り返りの実施	3	○6年生が率先して動く姿がよい。さらに、この姿が全体に広がるような取り組みが必要である。 ●行事のみでなく普段の係活動や委員会活動の活性化を図る必要がある。 ●教師の指示がないと動けないため自分たちで動けるような工夫が必要である。	3	○最高学年が動くのは北方小の伝統なので継続してほしい。 ○6年生の率先して動く姿を見て下級生も発達段階に応じて自分たちができることを見つけて動くことを期待する。

本年度の 重点目標		ゆめいっぱい	思いやりいっぱい	・自己肯定感 ・命を大切にする心 ・確かな日常モラル ・自ら考え行動できる力			
			学びいっぱい	・確かな学び/基礎基本 ・学ぶ喜びの実感 ・個別最適な学び/協働的な学び ・言語能力/言葉の充実			
			たくましさいっぱい	・タイムマネジメント力 ・生活習慣の定着 ・体力づくり ・安全意識の向上			
目標	評価 項目	具体的な 数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	コメント
学びのこころ	確かな学び/基礎基本 (学習指導部) (学力向上担当)	○学習のきまりがしっかり守れている。90% ○知識・理解の定着90%	○読み・書き・計算の繰り返しの指導と見届け ・学習のきまりの定着と学習環境の整備 ・少人数の良さを生かした指導 ・ドリル型アプリの効果的な活用	3	○朝のトライタイムや北方タイム等を活用して、個別指導を行うことができた。 ○チャイム黙想は少しずつできるようになってきている。 ●学力向上のための時間の効果的な活用方法を考えていく必要がある。 ●学習用具がそろわない児童が固定化しているので継続した指導が必要である。	3	○低学年での学びは、基礎基本となるので特に重要だと思われる。
	学ぶ喜びの実感 (研究主任) (学力向上担当)	○児童が進んで取り組む授業90% ○授業が分かったできたの実感90%	○ひなたの学び」の視点による授業づくり(児童が主役となる授業) ・職員研修(主題研)の充実 ・分かった、できたを実感できる場の設定	3	○教師間で授業を見合い日々の授業づくりに生かすことができた。 ●職員全体が共通して意識できる取り組みがあるとよい。 ●学力や特性上、児童が主となり授業を進めていくのは厳しいため少しでも児童が意欲的に学習に取り組む工夫が必要である。	3	○児童が楽しく学習できる環境設定が望まれる。
	個別最適な学び/協働的な学び (学習指導部) (情報担当)	○授業での効果的なICTの活用80% ○協働的な学びの場の設定90%	○一人一人の学習効果を高め、主体的学習を促すためのICT機器活用推進 ・習熟の場面でのICT活用の工夫 ・教師のICT活用スキルの向上 ・多様な学びを生み出す場の工夫	3	○今年度はAIドリルを活用して習熟の時間を充実させることができた。 ●協働的な学びについて研修を行い、全職員で共通理解を図る必要がある。 ●今後は、タブレット端末の持ち帰りを進めていきたい。	3	○AIドリルは習熟に活用するのはよい。 ○視力などの身体への負担も考え活用することが望まれる。
	言語能力/言葉の充実 (学習指導部) (図書担当)	○図書館利用週に2回以上90% ○読書が好き90%	○図書館利用の更なる推進 ・バーコード貸し出し活用による利用の推進 ・作品展等への応募による賞賛の場の設定 ・校内掲示の工夫 ・委員会等による読書推進の取組	3	○校内掲示板を定期的に張り替え、賞賛の場を設けることができた。 ○全校朝会で図書委員会が本の紹介をしたり、読書ビンゴを計画したりすることで、図書館利用率が増加した。 ●学級の時間等に読書の時間を取り入れるなどして、時間を確保する必要がある。	3	○個人差があるため読みたくなるような手立てや工夫が必要である。

本年度の 重点目標		ゆめ いっぱい	思いやりいっぱい	・自己肯定感　・命を大切にすること　・確かな日常モラル　・自ら考え行動できる力				
			学びいっぱい	・確かな学び/基礎基本　・学ぶ喜びの実感　・個別最適な学び/協働的な学び　・言語能力/言葉の充実				
			たくましさいっぱい	・タイムマネジメント力　・生活習慣の定着　・体力づくり　・安全意識の向上				
目標	評価 項目	具体的な 数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者		
						評価	コメント	
たくましく伸びるこども	タイムマネジメント力 （生徒指導部） （保体部） （教務）	○メディアに関する家庭での約束の設定100%	○メディアの上手な使い方へ家庭と連携継続した取組 ・情報モラルを身に付けるための場の設定 ・PTA活動（家庭教育学級、学校保健委員会）及び保護者への取組の啓発	2	○メディアアンケートを実施しその結果をPTAで共有することができた。 ●児童のメディア利用について保護者との連携が引き続き必要である。 ●学校では、啓発しているが、家庭での約束がなかったり、親の目の届かないところで使っていたりする児童もいる（課金、保護者不在の時など）。 ●学校保健委員会においてメディアに関する内容について講師を招いて実施したが、参加率が良くなかった。	2	○メディアと上手に付き合えるような指導が低学年から必要である。 ○メディア利用は保護者の責任なので家庭でのルール作りが最重要である。 ○家庭での見守りが必要だが、各家庭での取組に相違がある。今後も引き続き、啓発が必要である。	
	生活習慣の定着 （生徒指導部） （保体部）	○早寝・早起き・朝御飯の実施80%	・正しい基本的な生活習慣を身に付けるための場の工夫 ・家庭と連携した取組	2	○保健室からの生活習慣チェックの取組を行い意識づけを図ることができた。 ●月曜日に元気のない姿が見られるので、休日の過ごし方の指導が必要である。 ●学校からの手立てはとっているものの家庭での実践は難しい状況である。参観日の懇談や通信等で家庭にもさらなる啓発が必要である。	2	○家庭との連携を図りながら、規則正しい生活習慣を身につけさせる必要がある。	
	体力づくり （保体部）	○運動が好き、楽しい90%	○体力向上プランに基づく体力づくりへの取組 ・遊具や運動器具の活用工夫 ・運動旬間の充実	3	○体育的行事に意欲的に取り組み、昼休みには積極的に外遊びをする様子が見られる。 ●年間を通して全校共通で取り組める運動等があるとよかった。	3	○今後も外遊びを推奨していただき、児童の体力づくりに取り組んでほしい。	
	安全意識の向上 （生徒指導部）	○非常時の約束や行動の仕方が分かる90%	○非常時への対応訓練など危機管理体制の確立 ・安全に生活する態度・能力の育成（交通安全教室、防災教室等の実施）	3	○実際の状況を想定した訓練の実施や管理体制について保護者とも共有することができた。 ○大きな事故がなくてよかった。普段の生活と関連づけた指導の工夫をしていくとよい。 ○交通安全教室や防災教室は、外部講師を招聘し指導していただいたため児童の安全に生活する態度・能力が向上した。	3	○大きな事故や怪我が無く過ごせてよかった。 ○今後も非常時に備えての訓練を充実させてほしい。	